

雑誌講読

Seminar on Chemical Science and Technology

1 単位 (必修)

化学応用工学科全教員

【授業目的】卒業研究に関連する外国語の文献を読むことにより、専門分野の知識を深め専門外国語の能力を高める。また、発表や討論によりプレゼンテーション能力・コミュニケーション能力を養う。

【授業概要】卒業生が配属された各研究室において、卒業研究と関連する専門分野の文献を講読し、その内容を紹介し、討論を行う。

【キーワード】討論, 文献, プレゼンテーション

【先行科目】『化学応用工学基礎』(1.0), 『物質機能化学実験』(1.0), 『物質合成化学実験』(1.0), 『化学プロセス工学実験』(1.0)

【関連科目】『卒業研究』(1.0)

【履修要件】卒業着手した学生の受講が可能。

【履修上の注意】配属した研究室の指示に従うこと。授業を受ける際には、2時間の授業時間毎に1時間の予習・復習をした上で授業を受けることが、授業の理解と単位取得のために必要である。

【到達目標】

1. 卒業研究に関連する学術論文等を熟読し専門知識を増やす。
2. 発表・討論を通し、プレゼンテーション能力を高める。
3. 英文学術雑誌の講読を通じて、化学英語読解力を身につける。

【授業計画】卒業研究に着手した学生が、各研究室において指導教員や大学院生と共に少人数のゼミ形式で専門分野の文献を講読する。

【成績評価基準】各配属先研究室の担当教員が、発表、討論などを通じて総合的に評価する。雑誌購読の課題を完了した者には60点を与える。指導教員が、自身の卒業研究との関連性を把握している(目標1に対応)、プレゼンテーションがわかりやすい(目標2に対応)、英語の理解度(目標3に対応)、積極性など雑誌購読の達成度を評価シートに従って採点し、40点満点で評価する。以上算出した評点を合計して雑誌購読の評点とし、60点以上をもって合格とする。

【学習教育目標との関連】本学科学習・教育目標(F:◎)に対応する。

【教科書】配属研究室の指示に従うこと。

【参考書】配属研究室の指示に従うこと。

【授業コンテンツ】<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=215943>

【対象学生】開講コース学生のみ履修可能

【連絡先】

⇒ 河村 (化 410, 088-656-7401, kawamura@chem.tokushima-u.ac.jp) MAIL